

令和元年度 表現の絆みらいK i c k tonton 基山 事業報告

事業成果

- ふるさと表現舞台を通じた人づくり・居場所づくり
 - ①世代・団体・地域をこえた子どもたちが、表現舞台を通して互いに協調性や自主性を養い、コミュニケーション能力・シミュレーション能力を持つ人づくりの場所を創造できた。
 - ②同じ目標、違う価値観を持つ人と接することで自身の役割と価値を見出せる居場所づくりを行った。
- 舞台公演を通じた人とまちの交流
 - ①舞台の実現に向け、保護者・地域住民・企業がともに協力してサポートする『地域の和』を、ふるさとで育つ青少年に身近に感じてもらい、現代社会に欠如しがちな人と人・人とまちが繋がることの価値や、一人一人が可能性を信じ積極性のある行動の大切さへの学びを行った。また舞台製作ではエンターテインメント系専門学校の研修制度と連携し、より多くの人にとって、幅広い世代との繋がりの中で挑戦できる場、一生懸命になれる場をつくることができた。
 - ②活動を開始して以来、舞台公演を通して交流を深めてきた大阪府大阪狭山市『表現倶楽部うどい』、和歌山県日高川町『あすなる倶楽部絆の星』、佐賀県武雄市『飛翔倶楽部たけお』と一緒に基山町で舞台を制作することで、自分の故郷と向き合い、考えるきっかけづくりとなった。そして、日本の各地に同じ志を持ち、切磋琢磨できる仲間が生まれ、生まれ育った町以外に『第二のふるさと』が芽生え、幅広い視野を持った次代を担う青少年の育成を行うことができた。
- 「子どもが変われば、地域が変わる」地域創生事業
舞台づくりを実現する為の広報、協賛依頼の活動を通じ、町内のみならず近隣地域への周知が図られることでより多くの集客を実施した。一生懸命に且つ満面の笑みを浮かべながら表現する子どもたちの一挙手一投足に感動が生まれるような本物の舞台を実施した。その事を通じ「心が震えるほどの感動体験が子どもを変える。子どもが変われば大人も変わる。大人が変われば地域も変わる」地域創生事業として実施した。

活動経過（主なものを抜粋）

- 2019年5月4日（土） 表現の絆みらいワークショップ公演（無料） 基山町民会館小ホール
参加者：約100名 出演者：20名（みらい・飛翔倶楽部たけお）
- 2019年7月15日（月） 筑紫女学園ソーシャルワーカーイベントにてメンバー創作劇（9名）
- 2019年8月11日（日） あすなる倶楽部・絆の星 第5回本公演 出演（7名）
- 2019年9月7日・15日 ボランティア：佐賀豪雨（武雄・小城）
- 2020年2月23日（日） 表現の絆みらい第1回本公演「風の山城～背中越しにみた空は～」
昼公演約600名・夜公演約400名の参加者にて開演2回公演実施
- 毎月1回 吉野ヶ里軽トラ市 出演 毎週木曜日19時～21時・土曜日18時～21時稽古

K i c k tonton 基山（舞台実行委員会）会議：毎月1回程度 15回実施

舞台づくりを実現するための広報活動：チラシ配布2万9千枚（佐賀県東部地域を中心）
ポスター掲示300枚

各新聞5社掲載

SNS (Facebook Instagram LINE YouTube) 発信

名義後援：基山町・基山町教育委員会・基山町商工会・基山ライオンズ・鳥栖市・鳥栖市教育委員会・鳥栖商工会議所・鳥栖ライオンズクラブ・鳥栖養基ライオンズクラブ・鳥栖ロータリークラブ・みやき町・みやき町教育委員会

協力協賛：85社

観客数：昼公演：約600名 夜公演：約400名

出演者：60名（飛翔クラブたけお・表現倶楽部うどい・あすなろ倶楽部 絆の星・鳥栖商業高等学校ダンス部、演劇部・専門学校 ESP エンタテインメント福岡・風の声が聞こえる OG、OB・表現の絆みらい）

●ふるさと表現舞台を通した人づくり・居場所づくり

毎週 木曜日 19時～21時 土曜日 18時～21時 約136回 場所：洗心寮地域交流スペース
指導：平田瑞杏 所感：自の考えを伝えられなかった子どもが自分のことを語れるようになった。

●舞台公演を通した人とまちの交流

毎月出演 吉野ヶ里軽トラ市をはじめ地域のイベント出演 34回

第1回本公演に向けた勉強会を5回実施

所感：地域のイベント出演を通じ、表現の絆みらいの活動の認知が広がった。又 勉強会を通じ人に出会うことで表現の内容の理解につながった。

●「子どもが変われば、地域が変わる」地域創生事業

2月20日（木）会場入り～2月24日（月）交流会

表現の絆みらい第1回本公演 主催2月23日（日）観客数：昼公演：約600名 夜公演：約400名

所感：各地から集った仲間による舞台実施にもかかわらず、同じ志だった為に予想を上回る成果を得ることができた。

「一生懸命はみらいに届く」を理念とし発足6年目を迎え念願であった本公演を主催することができた。公演に向けて、多くの稽古を通じ みらいメンバー小学3年生から高校2年生 14名が切磋琢磨しあう姿を見ることができた。その事により信頼関係を築くことができ共に学びあう居場所としての機能をゆうすることになった。今年度事業を礎として、次年度もさらに理念を具現化できるよう取り組みつつメンバーが増えるよう取り組んでいきたい。